

論述ブースト No.1

医学部小論文を「論証」として書く

—— 感想文から脱して採点者に刺さる答案へ

今日のゴール：「思ったこと・感じたこと」を書く感想文から、「主張→根拠→反論の検討→結論」という論証の構造で書く論述へ転換する。医学部の採点者が何を評価しているかを理解し、同じテーマで「感想文レベル」と「論証レベル」の答案の差を体感する。

この授業の問い

1. 「論証」とは何か？「感想」との違いを説明できるか？
2. 医学部の採点者はどんな答案に高い点をつけるのか？
3. 「主張→根拠→反論の検討→結論」の4段構成で書けるか？

※ 授業後にもう一度この問いを見て、答えを書いてみよう。

医学部小論文の現実 —— 何が評価されているのか

多くの受験生が書くもの	採点者が評価するもの
「私は～と思います」という主観的感想	「～という理由から～と主張できる」という論証
医師志望動機の感動的エピソード	医師としての問題意識と社会的視点
反論・対立意見を無視した一方的主張	反論を検討したうえで自分の主張を強化する
「医師は患者に寄り添うべき」という抽象論	「～という状況では～という判断が適切」という具体性
字数を埋めるための繰り返し	1段落1論点・無駄のない論理の展開

核心の一言：医学部の小論文は「感情の豊かさ」ではなく「論理の明瞭さ」を評価する。採点者（医師・研究者）は論理的思考力を持つ人材を探している。

採点者の視点

採点者はここを見ている —— 医学部小論文・論証構造で合格答案はこういう「構造」をしている

① なぜ同じ内容でも評価が違うのか

清光学院の講師陣は、これまでに皆さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何千枚も採点し、合格・不合格の判定を下してきました。その経験から言えることが一つあります。

「正しいことを書いていても、論証の構造が見えない答案は、採点者の印象に残らない。」

医学部小論文・論証構造では、感想文と論証の違いの根拠が答案の質を大きく左右します。

② 医学部小論文・論証構造で採点者が見ているポイント

「主張→根拠→反論検討→結論の4段構造が採点者の求める論証」と示した答案が採点者に「論理的に考えている」と映る

 この授業の使い方

各問題のワンポイントには「採点者がどこを評価するか」の視点が含まれています。結論を出すだけでなく、論証の構造を意識しながら取り組んでください。

③ 総合型選抜・口頭試問でも同じ構造が問われる

採点者（大学教員）が口頭試問で確認したいのは「意見があるか」ではなく「なぜそう考えるかを構造的に説明できるか」です。この授業で習得する「論証の骨格」は、あらゆる試験形式に通用します。

続きは講義でご覧いただけます

この教材には、採点者の視点・核心的な解法・入試問題・演習・まとめがさらに収録されています。

大学教授陣が設計した「普通の授業では出会えない接続点」を体験できる完全版は講義でご提供いたします。

清光学院 AP SEIKO 理系講座 © 清光教育総合研究所